

MCDh 4 concentrate

REF.313610-1000

細胞構造の分染



IFU004A-RAL

専門的用途での使用向け。
本機器をご使用になる前に、本書に記載の全情報をよくお読みください。

目次

使用目的.....	1
原理.....	1
デバイスの説明.....	2
保管.....	2
活性成分.....	2
危険有害性分類と安全上の注意.....	2
使用者の資格.....	2
付属していないが必要となる特定の機器および試薬.....	3
操作手順.....	3
期待される結果.....	4
性能.....	4
ユーザー品質管理.....	5
その他の製品：.....	5
推奨事項、備考およびトラブルシューティング.....	5
記号および略称表.....	6
参考文献.....	6
更新履歴.....	6

使用目的

MCDh 4 concentrate は、Kit RAL Stainer MCDh と RAL Stainer 器具を組み合わせ、顕微鏡検査前の細胞構造の分染のために使用することを目的としています。

該当する場合、RAL Diagnostics は、関連する RAL Diagnostics 製品の使用を推奨しており、他ブランドの製品と組み合わせて使用した場合、期待される結果が得られるかは保証いたしかねます。

原理

MCDh 汎視染色法では、4 種類の反応薬を連続的に使用して血球数を測定します。MCDh 1、MCDh 2、MCDh 3、MCDh 4。

エチルアルコールを使用して調製された MCDh1 は、中性染色剤の混合物です。塗抹の固定、および染色（特に好塩基球顆粒などの水溶性成分の染色）の準備が可能になります。これらの染色はアルコール溶媒では不活性で、MCDh 2 の溶液中で放出された場合に限り選択的に反応します。この放出により中性染色剤の沈澱が生じ、赤血球、好中球顆粒の細胞質および好酸球顆粒の染色につながります。MCDh 3 は水溶液で、単球およびリンパ球の細胞質を染色します。また、MCDh 3 はアズール顆粒を赤に染色するため、メタクロマジープロセスが容易になります。最後に、MCDh 4 が余分な染色を除去し、特別に選択されたすすぎ剤の作用によって、細胞成分の分染に関与します。

MCDh 1、MCDh 2、MCDh 3、MCDh 4 の連続的な作用で紫色（典型的なロマノフスキー-ギムザ効果）になり、これは特に、クロマチン、血小板、好中球顆粒で顕著です。

デバイスの説明

MCDh 4 concentrate

透明な無色の溶液

REF.313610-1000

1 X 1 L

特定のバッチについては、my.ral-diagnostics.fr からバッチの分析証明書を参照してください。

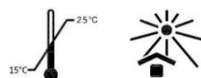
保管

保管温度：15～25° C、光の当たらない場所で保管すること。

開封前のボトル貯蔵寿命：ラベルの使用期限を参照してください。

開封後のボトル貯蔵寿命：希釈後 2 カ月。

開封後は使用期限に関わらずお早めにご使用ください。



活性成分

MCDh 4 concentrate

リン酸二水素カリウム - CAS 7778-77-0 : 約 0.03%

無水二ナトリウムリン酸塩 - CAS 7558-79-4 : 約 0.03%

危険有害性分類と安全上の注意

MCDh 4 concentrate

注目:

H226 - 引火性液体及び蒸気。

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H319 - 強い眼刺激。

H336 - 眠気又はめまいのおそれ。

H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

P210 - 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。

P261 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P280 - 保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。

P312 - 気分が悪いときは医師に連絡すること。

P333+P313 - 皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

P391 - 漏出物を回収すること。

CONT	5-chloro-2-methyl-2H-isothiazol-3-one / 2-methyl-2H-isothiazol-3-one
-------------	--

CONT	Isopropyl alcohol
-------------	-------------------



使用者の資格

全サンプルおよび製品は、資格のある認定された担当者が、個人的、または集団的な保護装備を装着した上で、検査機関で適用される国内指令に従って取り扱う必要があります。また担当者はラベルおよび安全データシート（my.ral-diagnostics.fr を参照）に記載の危険物質分類にも注意する必要があります。

検体は、当該検査機関における手順および当該国の所轄機関により要求されている手順に従って取り扱う必要があります。

診断は、資格のある認定された担当者が、検査期間内で適用される手順に従って実施する必要があります。

付属していないが必要となる特定の機器および試薬

顕微鏡スライド、無水エタノール、および次の RAL Diagnostics 機器：
Kit RAL Stainer MCDh REF. 360200-0000 および RAL Stainer REF.405000

この装置はプロトコルによって異なる場合があります。該当するプロトコル（操作手順の項を参照）を参照し、テストの実行に必要な装置を所有していることを確認してください。

操作手順

サンプル処理に使用する機器については、サプライヤーの使用説明書に従ってください。

サンプル調製

手作業による血液塗抹標本：チューブをゆっくり反転させて混合し、塗抹標本液滴装置を取り付けます。チューブを逆さにし、ドロップデポジターをスライドの上に軽く押し付けて、少量の血液を沈殿します（図 1- ステップ 1 のスライド A）。

45° に傾けたもう一枚のスライドを使用し（図 1- ステップ 1 のスライド B）、押し込み動作（図 1- ステップ 4）で短辺（図 1- ステップ 2&3）の毛細管現象によって血液を広げます。良質の塗抹標本はスライドの端まで到達せず、境界がぼやけるまで厚さが徐々に減少します。固定または染色する前に塗抹標本を空気乾燥させます。

注意：塗抹標本液滴装置がない場合は、チューブを開き、ピペットを使用して血液を沈殿します。

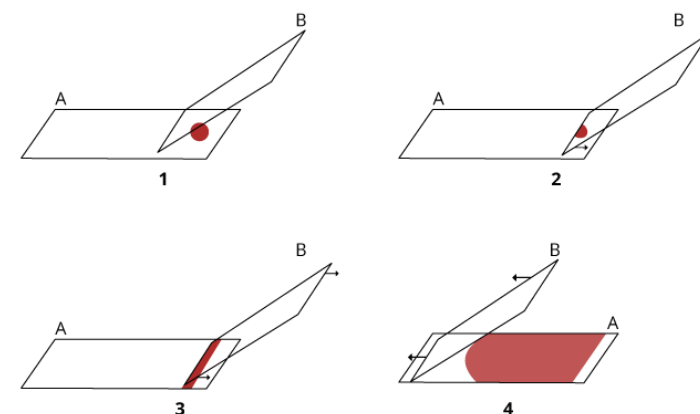


図 1. 血液塗抹標本実行の概略図

A & B : スライド、1~4 : ステップ 1~4

試薬と器具準備

MCDh 4 concentrate を 8 L の蒸留水または脱塩水に希釈して、すすぎタンクにすすぎ液を準備します。それからすすぎタンクを RAL Stainer に接続します。このすすぎ用の液体の希釈後の保存期間は 2 ヶ月です。

プロトコル

以下に示すプロトコルの染色手順は、各種染色溶液槽へのスライドの連続浸漬で構成されています。

浸漬染色法 - 手動顕微鏡分析

処理時間：11 分 10 秒

ステップ	試薬	時間 [mm: ss]	指示
固定および事前染色	MCDh1	07: 00	攪拌なし
染色	MCDh2	03: 00	攪拌による
染色	MCDh2	00: 30	
染色	MCDh3	00: 30	
すすぎ	再構成 MCDh 4	00: 10	
乾燥	なし	03: 00	なし

注記：屈折／水アーチフェクト現象の場合は、染色前にスライドを 2 分間無水エタノールに漬け、事前に固定します。事前固定ステップの後、スライドを乾燥させずにそのまま染色を開始します。

定常の染色方法によっては、CellaVision 自動分析用を含め、my.ral-diagnostics.fr でほかの染色プロトコルを提供している場合があります。

期待される結果

核 / クロマチン： +/- 濃紫色
 顆粒球細胞質：薄紫がかったピンク色
 顆粒球好酸球顆粒：橙色がかった色
 顆粒球好塩基性顆粒：紺色
 顆粒球好中球顆粒： +/- 濃紫色
 RNA を含むリンパ球細胞質：澄んだ青色
 RNA を含まないリンパ球細胞質：薄い青色
 リンパ球アズール顆粒：赤色
 単球細胞質：くすんだ青色
 赤血球：桃色がかったベージュ色
 血小板染色小粒：紫がかった赤色
 血小板透明質：青みがかった色
 血液寄生虫核：赤色
 血液寄生虫細胞質：青色

予想結果と異なる結果がみられた場合は、ご利用のサプライヤーを通じて RAL DIAGNOSTICS テクニカルサービスまでご連絡ください。

性能

この医療機器は最先端です。その分析性能、科学的妥当性、医学的関連性は、CE マーク評価で査定されています。

製品の性能を保証するため、清潔で乾燥した検査装置をご使用ください。

検査機関は、医療機器の使用に関する重大なインシデントについて、メーカーおよび各国の管轄当局に報告する責任があります。

ユーザー品質管理

ユーザーは当該検査機関における適切な品質管理手順を決定し、適用される検査機関の規則に準拠する責任があります。

RAL Diagnostics は、試薬の更新時および毎日の最初の染色サイクルで、正常な WBC 数の、既知の異常な症状のない、新鮮な血液塗抹標本を染色するよう推奨しています。品質管理目的で染色されたスライドは、意図する検査に十分なものであるかどうかを確認する必要があります（適切に染色されているか、沈殿物がないかなど）。

これらの品質管理手順は必ず資格のある担当者のみが行うものとします。

その他の製品：

詳細はご利用のサプライヤーにお問い合わせください。

推奨事項、備考およびトラブルシューティング

製品の外観

製品の的外観が上記の記述と異なる場合は、製品を使用せず、ご利用のサプライヤーを通じて RAL DIAGNOSTICS テクニカルサービスまでご連絡ください。

手順に関する備考

製品の劣化を防止するため、このマニュアルに記載の保管および取扱に関する推奨事項に従ってください。

MCDh 4 concentrate 液は黄色ですが、染色の結果に影響を与えません。10 L 容量の RAL Stainer すすぎタンクで Q.S 8 L に希釈する必要があります。1 L の MCDh 4 concentrate ボトルを注ぎ、蒸留水または脱塩水で 8 L に完成します。このすすぎ溶液の希釈後の保存期間は 2 ヶ月です。

RAL Stainer のすすぎタンクで、様々なバッチの再構成製品を混合できます。

製品の安定性

RAL Diagnostics 製品はすべて、未開封の場合、元のパッケージに記載されている使用期限までご使用いただけます。

染色安定性

染色品質と再現性は製品を適切にご使用いただけるかどうかで変わります。これらの推奨事項に従って行った染色は、数日間安定状態を保ちます。数カ月～数年染色した塗抹標本を保存する必要がある場合、RAL Diagnostics は、カバースリップを取り付け、適切な封入剤を使用して、軽量の防塵容器に保管することを推奨しています。

清掃および廃棄に関する注意

すべての生物学的サンプル、排水および使用済みの消耗品は、危険である可能性があるためとみなす必要があります。



あらゆるリスクを避けるため、サンプル、排水、消耗品の廃棄は、検査機関基準および適用される各国ならびに各自治体の規則に従ってください。

化学／生物学的ごみは専門の認定業者が収集および処理する必要があります。

記号および略称表

製品によっては、装置または梱包材に次の記号が付記されている場合があります。

GHSピクトグラム	解釈
	爆発性
	可燃性
	酸化剤
	圧縮ガス
	腐食性
	毒性
	有害
	健康被害
	環境危険
	ラベル非適用

シンボル	解釈
	バッチコード
	シリアル番号
	カタログ参照
	製造日
	最大使用
	一意のデバイス識別子
	製造元
	輸入元
	該当地域で医療相談を提供する団体
	CEマーク機器
	体外診断用医療機器
	欧州共同体の認定代表者
	スイスの認定代表者
	英国ガイドラインに準拠
	梱包が破損している場合は使用しないこと
	光から遠ざけること
	温度制限：15～25°C
	温度制限：15～30°C
	乾燥保管
	ボックス：上向き取扱
	割れもの注意
	照射滅菌
	外側の保護梱包によるシングル滅菌/バリアシステム
	滅菌および放射線滅菌/バリアスーツ
	再利用しないこと
	再滅菌しないこと
	n回のテストに十分な内容量
	危険物を含む
	取扱説明書を参照
	使用
	開封後、XXか月以内に使用すること
	この製品は自動染色機と併用しないでください
	*発がん性、変異原性、または生毒性 (CMR) を含む可能性のある物質。または内分必かく乱物質として分類される物質を含む医療機器を示します

参考文献

BENATTAR L., FLANDRIN G., Morphometry and Quality Control for a May-Grunwald Giemsa stained preparation. A 40 centers cooperative study. Leuk. & Lymphoma 1999, 33, 587-591.

BENATTAR L., FLANDRIN G., Etapes de l'automatisation de l'étude microscopique du sang. Rencontre Médecins biologistes, 2002. ATEB, Journée Technique Parisienne, mars 1977.

DUHAMEL G., DUHAMEL E., Cytologie hématologique, Les cellules pathologiques I et II, Coloration au May-Grünwald Giemsa RAL, Biologiste et Praticien et Réactifs RAL, 1984 et 1989.

Ecole Nationale de Chimie, Coloration de Pappenheim, Présentation théorique des mécanismes cytochimiques des colorants neutres avec applications techniques détaillées, Journée du technicien biologiste, mars 1980, p. 1-9.

GENTILHOMME O., TREILLE - RITOUET D., BRYON P-A., Cytologie hématologique, Les cellules normales, Coloration au May-Grünwald Giemsa RAL, Réactifs R.A.L., 1989.

THEML H., ATLAS de poche d'Hématologie, Médecine-Sciences Flammarion, p. 19-25, 2000

更新履歴

日付	バージョン	更新
2022年5月	IFU004A-RAL	IVDR (EU) 2017/746 準拠



RAL Diagnostics - Site Montesquieu - 33650 Martillac - France
T+33(0)5 57 96 04 04 - F +33 (0)5 57 96 04 55 - ral-diagnostics.fr / cellavision.com